

大分東週報



国際ロータリー第2720地区
大分東ロータリークラブ



R.I.テーマ
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
大分東RCスローガン
「温故知新 新しい時代のロータリーを考えよう」



テニスの全英オープンが開催されるウィンブルドンセンターコート

2021-2022 第26回 例会 2022.5.12 No.2741

ガバナー 大森 克磨
会長 瀬口 清文
幹事 前田 修二

本日のプログラム (5月12日)

- ◎12:30
- 開会並びに点鐘
 - 国歌並びにロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
会食
 - ゲスト・ビジターの紹介 瀬口 清文 会長
 - 会長の時間 瀬口 清文 会長
 - 幹事報告 前田 修二 幹事
 - 出席報告 野田 直宏 出席委員長
 - 委員会報告
 - ニコボックス
 - 今週のお祝い
<創立記念日>
菅 雅幸会員 日本文理大学 5月15日
<出席>
由見真治朗会員 4月18日(18年)(100%)
阿部 克哉会員 4月5日(15年)(100%)
<在籍>
那賀 圭介会員 4月5日(15年)
木暮 賢児会員 4月8日(1年)
<結婚記念日>
佐藤 佳郁会員 5月16日
<パートナー誕生日>
岩崎 哲朗会員 道子夫人 5月15日
前田 修二会員 布貴子夫人 5月17日

<会員誕生日>

佐藤 佳郁会員 5月16日

◎13:00

- 例会企画
クラブ協議会「今年を振り返って」

第25回 (4月21日) 例会 記録

「RYLAについて」 阿部 克哉 会員の卓話

・出席報告

会員 総数 37名 (免除 会員 9名)	4月21日 (前回)				4月7日 出席率 (修正)
	出席会員数	出席率	ゲスト	ビジター	
	22名	75.86%	0名	0名	90%

次週の例会 (第27回5月19日)

ゲスト卓話 石川 正史 様 (株)タイセイ
「スピード! スピード! スピード!」
「変化し続けるものが生き残る!」

会長の時間（令和4年4月21日）

会長 瀬口 清文

先週は、今年度初の職場例会でした。参加された皆様、大変お疲れ様でした。コロナ禍により、ほぼすべての行事が中止となる中、職場例会を無事に行えてほっとしています。今後も感染予防には十分注意をしながら、できる行事をしっかり行っていきたくと考えています。本日の例会も予定では夜の例会でしたが、昼の例会へと変更となりました。そして、ゴールデンウィークをはさみ、次回の例会は5月12日となります。

そこで、今回は端午の節句についてお話します。「端午」とは、「最初の午の日」という意味です。中国の古い暦では、十二支の寅から1月が始まります。午の月は5月です。午の月の最初の午の日は、5と5が重なる5月5日となります。また節句とは季節の節目のことです。古代中国の陰陽道では、奇数を「陽」と考えていました。しかし奇数が重なる日は「強い陰をなす日」と恐れられ、身を清めてお供えをする日だったそうです。そんな節句の日は、1年に5回あり五節句と呼ばれます。

江戸時代になると五節句は、「吉祥の日」とされ幕府公式の祝日でもあり賑やかなお祭りの雰囲気がありました。公家の「ひな人形遊び」が流行し、上巳の節句（3月3日）と結びついて華やかな女の子のお祭りとなっていきました。それに対し端午の節句は、「菖蒲の節句」とされ「男の子のお祭り」として意識され、特に武士の間で祝われたようです。旧暦では、端午の節句は6月ごろ。梅雨入り前の暑い季節で、この時期に武具や甲冑を蔵から出し、虫干しする習慣が五月人形を飾る風習の原型といわれています。また、菖蒲を葉草にする習慣は古くからあり、室町時代にはすでに菖蒲湯、菖蒲酒など厄払いや葉草として用いる習慣が根付いていたそうです。鯉のぼりを揚げる所以は、最初は吹き流しだけだったものが、「滝を登り切った鯉は、竜になる。」という故事にちなんで鯉が描かれるようになったということです。

いつの時代でも、男女を問わず子供たちの健やかな成長を願う気持ちには、変わりがないということだと思います。

幹事報告

1. 地区研修協議会日程

4月23日（土）米山奨学会セミナー 9:00～12:00 竹内会員
公共イメージセミナー 13:00～15:00 由見・松本会員
社会奉仕セミナー 15:00～17:00 佐藤（佳）会員

4月24日（日）R財団セミナー 13:00～15:00 佐藤（泰）会員

ご参加を宜しくお願いいたします。

2. ローターリー奉仕デー実行委員会より

大分第4グループは地区大会本会議（5/14）10:00～「ウクライナへの募金活動」を行います。それに伴いチラシ代等の諸経費を各クラブ負担を7,000円前後で負担する事になりましたので皆様のご理解を宜しくお願いいたします。それと当日5名以上のお手伝いが必要となりますので出来ましたらご協力をお願いしたいと思っておりますので、ご参加いただける方は後ほど幹事までご連絡ください。宜しくお願いいたします。

3. 次回の例会は5月12日（木）の通常例会です。

本日、5月の出欠回覧をいたしますので宜しくお願いいたします。

その際に地区大会本会議へのご出欠も確認させていただきますので宜しくお願いいたします。

ニコニコボックス

●岩崎哲朗会員（2口）

4/18（月）に「ネスタ大分友の会ゴルフコンペ」がありました。

ウィークデーの週始めにゴルフをすることの後ろめたさが

あったのですが、私の敬愛する那賀社長の会でしかも那賀さん、菅さん、松本さんという東ロータリーのメンバーと同じ組で回れるということでしたので、楽しみに参加しました。ラウンド結果も那賀さんにグロスで逆転勝ちしたので最高でした。

特報版

- 5月のプログラム 5月19日（木） ゲスト卓話 石川 正史 様（株）cotta執行役員
- 6月のプログラム 6月 2日（木） ゲスト卓話 藤島美奈子 様 MK ヴォレプランニング（株）
6月 9日（木） ゲスト卓話 中島 知子 様
5月26日（木）・6月16日（木） 休会

家庭集会

2022.4.13

「温故知新 新しい時代のロータリーを考えよう」

グループ1

瀬口リーダー、岡村会員、幾留会員、木暮（幹事）

瀬口リーダー・岡村会員・幾留会員より、

大分東ロータリークラブについてのお話をいただきました。大分東ロータリークラブの会員はお酒好きが多く、先輩方々は皆気さくであり、だれもが話やすい環境を整え優しく接してもらえる。現在コロナ禍であり懇親の機会も難しい状況であるが、本日の開催はやはり楽しいものです。ウクライナの情勢により半導体は勿論のこと歯科医院にも影響が生じている状況や会長職2巡目の話もあり会員の拡大について必要性も感じる。昔も今もロータリアンの精神・奉仕・好意と友情を深めるなどの志を持った集まりです。各会員が自身の職場でロータリアンの志・奉仕の理想を持って日々取り組む集団でありたい。議論は盛り上がり政治・経済など多岐にわたり話が弾みました。また、弁護を行う上での「真実は何か」岡村会員の襟を正し実直な姿勢など尊敬しかありませんでした。

グループ1の家庭集会は2時間以上にわたって笑顔の絶えない時間を過ごすことができました。やはり、諸先輩方々のお話は勉強になり話題も豊富であります。瀬口会長からは、いつもお酒が入りグダグダなる事が多いが、珍しく真面目な話もあり有意義な時間でしたねとのこと（笑）。

初の家庭集会参加でありましたが、日程・時間調整についてグループ会員皆様のご協力を頂き速やかに実施することができました。誠にありがとうございます。また、ロータリアンとしての志や精神などを伺えとても有意義な時間であり、「みんなの人生を豊かにするため」「新しい時代のロータリーを考える」機会となりました。これからも大分の魅力や観光・多様性、幅広い業種の方々と親睦など大分東ロータリークラブの会員として、微力ながら尽力したいと考えます。

幹事 木暮

2022.4.21

「温故知新 新しい時代のロータリーを考えよう」

グループ5

那賀リーダー、由見会員、園田会員、大西会員、野田（幹事）

那賀リーダーより、

大分の歴史のお話をいただきました。大分のオピニオンリーダーの方々がどのような苦労を経て、現在に至ったか等、議論は盛り上がり大分経済の話から大分の高校野球名門校、大分出身のタレントの話に至るまで、テーマは多岐にわたりました。また、佐藤会員が甲子園でホームランを打ったことも伺いました。

グループ5の家庭集会は2時間以上にわたって笑顔の絶えない時間を過ごすことができましたが、1時間程度はゴルフの話でした（笑）。グループ5のみなさんは、大分のゴルフコースに関して、様々なホール形状やクセを暗記されており、私ももっとゴルフをしなればとしみじみと感じながらお話を伺っていました（大西会員も同じ通勤族のはずなのに、話についていっているのには尊敬しかありません）。

本日の家庭集会では、ロータリーの将来を考える際、重要なテーマのひとつに、現在37名まで減少してしまった会員数の増加の必要性が上がりました。また私のような通勤族が将来、他地域に異動することになった際には、大分の魅力や思い出を具体性をもって語っていくことも必要だと感じました。結果、大分に関心を持ち、観光に来たり、または移住を検討したりする方が増え、大分が更に栄えていくことになっていけばいいなと思いました。そのためにも、地元企業の幅広い業種の方々の会員が増えていくことに期待をしておりますし、私にできることがあれば、微力ながら尽力たく存じます。

幹事 野田

グループ7

【テーマ】 これからのロータリークラブについて

（角山会員談）

今は会員拡大というテーマを持って取り組んでいるが、30年前のロータリーは1業種1社、大分市内5クラブ位で誰もが入れないというステータス感があつた。

メーキャップに博多まで行く様な事もあり（ロータリアンはこうしないといけないという）厳しい側面もあつたが、何より、先輩が優しくあつた。親睦の機会が多く（例えばゴルフも2カ月に1回やっていた。家族で旅行などもあつた）繋がりを大事にしていた。

ロータリークラブに入ってよかった事は、各業種でご活躍の方々と分け隔てなく交流できる事（学びや気づきが多い）、人間関係が作れる事、いろんな事を教えてもらった（先輩にかわいがってもらった）事。世界会議に参加した際、アフリカの会員夫妻の女性が絨毯に寝っ転がっていて、世界にはいろんな人種があり、いろんな人がいる事を知った（視野を広げる機会になった）

ガバナー補佐というお役目を断れない方からのお声がけで受けた事があるが、お役目をやらせていただく事でいろんな方々と知り合いになれて交流できた事は大きく生きていく財産になっているので、先輩に言われた事は「はい！」と受けていった方がいいのではないかなと思う。

ロータリー活動で大事にしてきた事は、お互い気遣いしながらやってきた。

これからのロータリーは会員皆がこんなロータリーにしたいといった事を大切にしていた方がいいのではないかなと思う。

また、奉仕事業など核になるものを持った方がいいのではないかなと思う。

親睦の機会は決してゴルフだけでなく、いろんなものがあってもいいのではないかなと思う。

親睦（人間関係作り）の中から得られるもの、学べる事をロータリーは大事にしていた方がいいのではないかなと思う。

（佐藤純也会員、竹内会員、森会員の意見）

新規の会員が増える為には例会のオブザーバー参加した方にロータリークラブの魅力が伝わる様な機会を設けてはどうか（例えば会員経験の長い方が卓話迄なくても5分くらいでロータリーに入って経験した事、良かった事などを話していただくなど）

昼例会で新規の方がロータリークラブの魅力を何か感じて頂ける機会を設けた上でオブザーバー参加を多くしていくのはいいのではないかな。

新規で参加された方と会員が交流できる機会をセッティングがあるといいのではないかな。

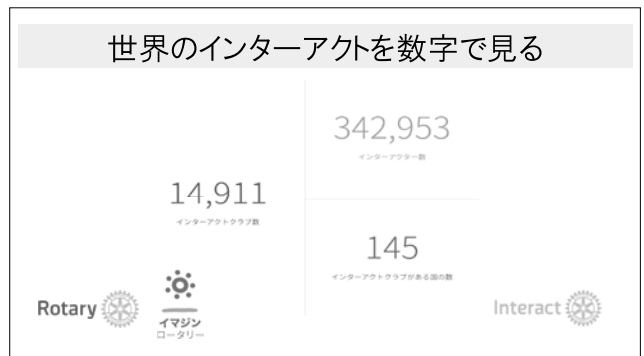
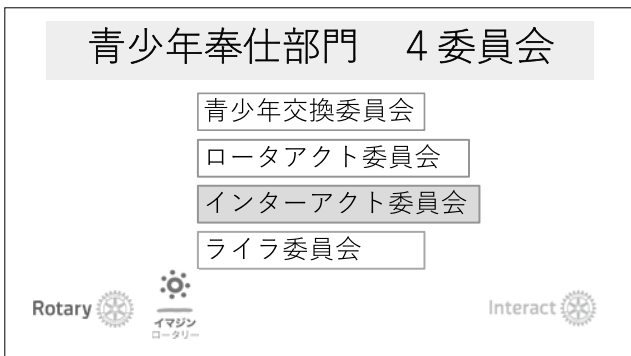
夜例会の2次会などを自由参加で設定して親睦の機会を広げてみてはどうか。

家族集会 実施日 2022年4月26日

書記 報告者 森 嘉隆

「RYLAについて」

阿部 克哉会員



ロータリーソング

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の生業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ我等のロータリー

国際ロータリー第2720地区 大分東ロータリークラブ

創立 昭和38年3月6日
例会日 毎週木曜日・12時30分
例会場 トキハ会館4F「つばきの間」
会長 瀬口 清文
幹事 前田 修二
事務所 〒870-0021
大分市府内町1-2-15
(トキハ会館4F)
TEL532-0611 FAX532-8386
ホームページ <http://www.higashi-rc.com/>
メールアドレス oitahigashirc@mist.ocn.ne.jp